



歌津地区健康づくり隊について紹介します

平成27年度に策定した南三陸町第2期健康づくり計画。健康づくり隊は、計画を推進しています。

こんな歌津地区になるといいなあ

健康長寿の歌津

こどもから高齢者まで
寿命を全うしてびんびんこり

こんな取り組みをしたい

- ① 健康づくり活動の基盤をつくる
- ② 自主グループ活動の充実とネットワーク化を図る
- ③ 健康づくりについて関心が高まり、実践できる
- ④ 地域での交流が盛んになり、気軽に声掛けや助け合いができる

健康づくり隊で話し合い

自主グループの交流会をしましょう



自主グループの交流会を行いました

港・石泉交流会



馬場中山地区・ひまわり会交流会



これからも様々な活動をしていきます。

● 保健福祉課健康増進係 ☎46-5113

求職者を雇用する事業主対象の住宅支援費助成

宮城県では、宮城県事業復興型雇用創出助成金(住宅支援費)を創設しました。

【対象】県内の沿岸部に所在する事業所で、平成29年4月1日以降に住宅支援(住宅の借り上げ・住宅手当)を導入し、その後平成30年2月14日までに求職者を雇い入れ、かつ、雇用の維持・確保を達成した事業主

【助成金額】住宅支援に要した費用の4分の3に相当する額(1事業所につき年額240万円、3年間総額720万円が上限)

【募集期間】2月28日(水)まで

● 宮城県経済商工観光部雇用対策課 ☎022-797-4661

町指定天然記念物(地質鉱物) 皿貝化石群層・皿貝化石標本

● 皿貝

歌津と志津川との境にあたる垂の浜から皿貝にかけては、皿貝層群と呼ばれる地層が広がっています。この地層は約2億3千万年(2億1千万年前の中生代三畳紀のもので、モノテイスと呼ばれる二枚貝の化石で構成されています。モノテイスが発見されることから、かつてこの地域一帯が浅い海であったことが分かります。

皿貝でモノテイスを発見したのは、日本地質学の祖と呼ばれ、「ナウマン象」にその名を残すエドモント・ナウマン博士です。彼は明治8年(1875年)に来日し、日本各地を巡り日本列島の地質構造とその形成について調査していました。明治14年(1881年)の調査旅行中、皿貝という地名にひかれ歌津の皿貝にやってきました。この地での皿貝化石の発見は、日本にも三疊紀後期の地層が存在することが初めて証明された重要な発見でした。

土地に埋もれている昔の建物跡や土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

● 教育委員会生涯学習課 ☎46-2639

ご存知ですか?
文化財保護のこと

南三陸の魅力、元気が詰まった広報紙

広報 南さんつく

お知らせ版 1月号

編集・発行／南三陸町企画課
☎ 0226-46-1371

04